

令和4年度学校関係者評価

中央歯科衛生士調理製菓専門学校 歯科衛生学科

令和4年度学校関係者評価委員

■保護者 小椋 適子 様（歯科衛生学科2年生小椋風花さんの保護者）

■企業関係者 汐見久美子 様（しおみ歯科医院医院長）

■他校関係者 塚口公美子 様（中央医療健康大学校 歯科衛生学科学科長）

1・教育理念・目標

【自己評価結果】		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	A
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	A
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A
【現状の問題点】		
前年より評価が下がっているが大きな問題はないと思われる		
【改善のための方策】		
今年度は確認テストを行っていないため、浸透しているかどうか不安であった。来年度は通常通り唱和も行い、確認テストも行っていく。教職員のクレドも同様に朝礼に拘らず夕礼でも読み上げを行っていく。目標についても毎月反省会を行っていたが、来年度も徹底していく。		
【関係者評価】		
（塚口先生）同じ学園内に同じ学科があるということで連携の必要性を強く感じている。中央医療健康大学校において、歯科衛生学科はあとからできた学科のため、他学科と足並みをそろえるようにしてきたが、今後は三島校歯科衛生学科とも勉強会や情報交換の機会を増やしていきたい。		
（汐見先生）3年生になると急に知識が増えてくると感じる。質問内容も知識に裏打ちされたものとなり、普段先生方が取り組まれている成果だと感じている。		
（学校）勉強がもともと苦手であっても、勉強をする学生は成績があがっていく。切羽詰まっても勉強をしない学生への対応が難しい。休日も学校登校させ、強制的に勉強させていく。精神的に弱い学生も多いため、カウンセリングの先生にも早めにつなげていきたい。		
（小椋様）一人ひとりをよく見て指導してくれている。これからもお願いしたい。		
（学校）担任制は専門学校ならではの取り組みである。学生の様子は担任を通して科内で共有している。今後も続けていきたい。		

2・学校運営		
【自己評価結果】		平均
6	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	A
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	A
9	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	A
10	組織内の連携は適切に図られているか。	A
11	上司の指示は適切にされているか	A
12	上司は提案を受け入れてくれているか	A
13	職場内での教職員教育・指導は十分なされているか。	A
14	BSCは適切に活用されているか。	A
【現状の問題点】		
事業計画の策定は全員の意見を聞きながら策定して行きたい。		
【改善のための方策】		
6については目標設定や策定は時間を掛けて科内全員で作成しているので、なぜ低いのか分からないが、来年度の計画の策定も時間をかけて全員で作成していく。9・10については学園内で考えると規則や連携はまだ完全ではないと思えるが、今年度は学則の統一もされ今後はさらに整備や連携を期待している。また、同じ医療系の科との情報共有も積極的に進めていきたい。14について1・2月の反省会が毎月出来なかったことによる。		
【関係者評価】		
上記の1)教育理念・目標についての関係者評価に含む。		

3・教育活動		
【自己評価結果】		平均
15	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
16	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
17	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
18	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
19	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A
20	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
21	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
22	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
23	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	A
24	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	A
25	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	A
26	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
【現状の問題点】		
設問20については、フォローの仕方の見直しが必要と思われる。研修については何か参加するものを探して行くようにしたい。		
【改善のための方策】		
20番については、コロナ関係の欠席・早退等は休みにカウントされないという状況に乗じて学校も臨床も休みがかなり増加してしまったこと。もっと早くその学生達へのフォローをすべきであったという意見があった。GW明けから5類になることで状況は変わるが、欠席にならない休みについては体調がよくなり次第、補講を行う等のフォローを検討していく。		
【関係者評価】		
上記の1)教育理念・目標についての関係者評価に含む。		

4・学修成果		
【自己評価結果】		平均
27	就職率の向上が図られているか	A
28	退学率の低減が図られているか	B
【現状の問題点】		
退学者が増えているので、ケーススタディとして今後に活かす必要がある。		
【改善のための方策】		
28番については特に2年生の退学者は今までにないことである。また、2・3年生に休学者がでたことも初めてである。それぞれの学生の退学に至るまでの状況は担任がまとめている。しかし突然休み話をしようと登校を勧め面談をするときには既に辞めることを決めている場合などは対処が難しい。辞める理由は様々であるが、学生に定期的にアンケートなどで聞き取り（悩み事があるか、相談したいか等）を行い、なるべく早く気付けるようにしていく。難しい内容も多いので、カウンセリングの先生にも助けていただきたい。		
【関係者評価】		
塚口先生）退学する学生はすでに退学を決めているパターンが多い。学校を休み始めるのが前兆となっている。対応が難しいと感じている。		
（学校）授業に出なくていいから学校に来て話をしようと声を掛け、来れる子はその後も続けていける。突然休みカウンセリングに会うこともないまま、退学をきめてしまった。もう少し前からフォローしていく。		
（汐見先生）玄関など指紋認証になり、防犯に関しては改善していると感じる。		
（校長先生）メールでのやり取りをしてみてもどうか。		
（小椋様）退学に関しては言いにくいこともある。メールなどを活用して聞き取りができればよいと思う。		
（学校）学生個人にGmailアドレスがあるので、それを今後は活用していく。		
5・学生生活支援		
【自己評価結果】		平均
29	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	A
30	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
31	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	A
32	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	A
33	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
【現状の問題点】		
カウンセラーと話合って問題解決をして行く必要がある。設問33について、報告書は読んでいられるので、それ以外どうした共有が必要か話し合うようにしたい		
【改善のための方策】		
・29番カウンセリングの予約が必要な時にとれなかった。できたらカウンセリングの日程を増やしてほしい。・31番指紋認証にしていったり、防犯防災グッズの新たに購入していただいた。しかしシャッターがしつかり閉まらないのは、整備されていないようで防犯的によくないのではないかと。・33番については、突然退学したいと決断して来て教員に相談もなかったことが低い理由であった。理由が分からないという共有は出来ていた。		
【関係者評価】		
上記の4)学習評価の関係者評価に含む。		

6・教育環境		
【自己評価結果】		平均
34	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	B
【現状の問題点】		
整備計画を作成したい		
【改善のための方策】		
・開校当時からの設備や器材が古くなってきている。予算の計画をたてていく。		
【関係者評価】		
上記の4)学習評価の関係者評価に含む。		

7・学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
35	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。	A
36	入学案内（パンフレット）には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
37	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	A
38	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	A
【現状の問題点】		
募集はかなり厳しくなると予想される。方法について検討会を行ってほしい		
【改善のための方策】		
・35～38番全体としてOC等の内容で学生スタッフから不評な内容（ダンス等）があった。 ・学生スタッフだけでなく、他の学生も含めてみんなに協力してもらう体制をつくる。		
【関係者評価】		
（塚口先生）好評だったOC内容として、作成した媒体を使った保健指導を参加者に披露した。幼稚園向けの媒体ではあるが、せつかく作成したものであり、学生も少しの打ち合わせで実施することができてよかった。 （学校）参考にさせてもらいたい。 （汐見先生）学生が充足されていることは素晴らしい。看護学校でも講師をさせてもらっているが、次年度は学生数が1/2となってしまった。これまで2クラスに分かれていたが、1クラスだけの授業となる。看護師は業務内容がきついイメージがあるのかもしれない。歯科医院はコロナ禍においてもクラスターもなかったこともあり、同じ医療職として、歯科衛生士は魅力を感じやすいのではないかな。 （学校）器材の取り扱いについては、メーカーの方にも講義をしてもらっている。器材を大切に扱うことは非常に大切なこと。使用後のチェックをインストラクターの先生方にも協力してもらいながら、徹底していく。		

8・財務		
【自己評価結果】		平均
39	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	B
40	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	A
【現状の問題点】		
・学費納入基盤の安定には学生募集が欠かせないので、「7」と同じくよく検討して方法を考えていく必要がある。		
【改善のための方策】		
・18才人口の減少や退学者が出てしまっているため低くなった。また経費（器材等が古くなってしまい）が掛かることへの不安も点数につながった。 ・予算の中で（今後必要な費用を）積み立てができないか検討していく。 ・定員には達しているので、退学者を減らしていく努力をする。（学力の補助、不安や心配ごとの案ケート、行事を復活させ仲間づくりの支援）		
【関係者評価】		
上記の7学生の受け入れ募集についての関係者評価に含む。		

9・法令等の遵守		
【自己評価結果】		平均
41	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
42	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
43	個人情報保護法を遵守しているか。	A
44	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	A
【現状の問題点】		
特に問題はないと思われる		
【改善のための方策】		
・実習施設にて学生の情報（次の実習施設が記載された物を学生が見える所に置いてあり、見えてしまった）の取り扱いについて会議等で注意喚起していく。 ・学生の写真の取り扱いについて（SNS等であげるために撮影）学校のカメラであっても必ず消去することを徹底する。		
【関係者評価】		
上記の7学生の受け入れ募集についての関係者評価に含む。		